



海溝型地震…陸側のプレートと海側のプレートの境界である海溝付近で発生する地震
内陸活断層…陸側のプレート内部での断層運動に型地震 より発生する地震

歴史地震に学ぶ!

あいち防災キャラクター
防災ナマズン

宝永地震 (M8.6) 海溝型地震

宝永4年(1707年)10月に発生しました。少なくとも死者は2万人で、我が国最大級の地震の一つです。
東海道・伊勢湾・紀伊半島で被害が最もひどく、愛知県でも、豊橋市や田原市の太平洋側で、津波により移転した寺社の記録等が残されています。

じょうこうじ 常光寺



宝永地震や1854年の安政東海地震に関する史料が残されているなど、貴重な中世史料を所蔵しているお寺です。

所在地：田原市堀切町
交通：豊鉄バス「堀切」より西 約700m

とうかんのんじ 東観音寺



宝永地震の大津波により被害を受け、現在地に移転したとの記録が残っています。津波前後の絵図や石碑も残されています。

所在地：豊橋市小松原町
交通：JR東海道本線「二川」より南 約5km

安政東海地震 (M8.4) 海溝型地震

安政元年(1854年)11月に発生しました。死者は2千~3千人で、この地震の32時間後に南海地震が発生しています。
被害は関東から近畿に及び、愛知県では渥美半島の太平洋岸や三河湾の沿岸部に津波により浸水した記録が残されているほか、強い揺れにより倒壊した家屋等の記録も残っています。

おおしまはちまんしゃ 大島八幡社



安政東海地震で八幡社社殿や村の家屋54軒などが倒壊して大津波が押し寄せたこと、藩主から見舞金が出されたことが棟札に記されています。

所在地：西尾市吉良町大島
交通：名鉄西尾線「吉良吉田」より西 約2.5km

かいがらぼた



安政東海地震による津波を契機に、津波除けのために貝やかきの殻を積み上げていったので、「かいがらぼた」と呼ばれています。

所在地：田原市堀切、日出
交通：豊鉄バス「堀切海岸」より海側すぐ

濃尾地震 (M8.0) 内陸活断層型地震

明治24年(1891年)10月に発生しました。日本の内陸で発生した地震としては最大級のもので、死者は7,273人です。
震源の岐阜県本巣市では、地震によりずれ動いた断層の跡が確認できます。愛知県では、主に尾張北部や尾張西部で強い揺れや液状化の記録が残されています。

いぬやまじょう 犬山城



寛文2年(1662年)の地震により石垣が崩壊した記録があるほか、濃尾地震により石塁と、天守閣の西半分が崩壊する被害を受けています。

所在地：犬山市犬山北古券
交通：名鉄犬山線「犬山」より北西 約1.3km

てんのうがわこうえん 天王川公園



濃尾地震の惨害を記録するための記念碑があり、碑表には罹災の実情、堤防や学校の復旧の様子などを、碑裏には建碑資金の寄付者名が刻まれています。

所在地：津島市宮川町
交通：名鉄津島線「津島」より南西 約1.4km

昭和東南海地震 (M7.9) 海溝型地震

昭和19年(1944年)12月に発生しました。午後1時頃に起こり、授業や勤務時間帯に重なったこともあり、学校や軍需工場を中心に死者・行方不明者1,223人の被害がありました。
愛知県では名古屋市南部と半田市の軍需工場特に被害が大きく、東南海地震の碑を見ることができます。

とうなんかいじしん ひ 東南海地震の碑



軍需工場の建物が倒壊し、労働者と学徒ら51人、朝鮮女子勤労挺身隊員6人が犠牲になりました。碑には「悲しみを繰り返さぬようここに真実を刻む」と書かれています。

所在地：南区豊田 名南ふれあい病院
交通：名古屋バス「三新通二丁目」より南すぐ

かりやどこうえん 雁宿公園



公園内に存在する3基の慰霊碑の中の一つである「殉難学徒之像」は、亡くなった学徒の慰霊のために建てられ、96人の氏名が刻まれています。

所在地：半田市雁宿
交通：名鉄河和線「知多半田」より西 約700m

三河地震 (M6.8) 内陸活断層型地震

昭和20年(1945年)1月に発生しました。昭和東南海地震の37日後に発生し、地震の規模の割に被害が大きく、死者は2,306人でした。
西三河地域を中心に記録が残されており、被害を記録した記念碑や津波の記録、地震によりずれ動いた深溝断層など、地震に関する数多くの記録が残されています。

みかわじしんついでのおひ 三河地震追憶之碑



三河地震において、藤井地区では全人口611人(117戸)のうち77人が亡くなり、まさにこの世の生き地獄そのものであったことが記されています。

所在地：安城市藤井町
交通：あんくるバス「藤井東」より南西 約500m

ふこうざだんそう 深溝断層



三河地震の際にできた断層で、最大落差は約1.5m、最大ずれ変位量は約1mです。現地ではこれらの変位量が、2本の杭で示されています。

所在地：幸田町深溝
交通：JR東海道本線「三ヶ根」より西 約2km

「歴史地震記録に学ぶ防災・減災ガイド」できました

歴史地震記録(碑や史跡、伝承や教訓など)に学び、この地域で繰り返し発生する地震による被害について知っていただくために、地震による災害を今に伝える記録をまとめた「歴史地震記録に学ぶ防災・減災ガイド」ができました。
PRキャラバン隊「災害伝承 伝え隊」が県内各地の防災イベント等で配布するほか、防災局ホームページからもダウンロードできます。
ガイドを読んで地域の地震の歴史を知り、地震について考えましょう。



ガイドのダウンロードはこちら
<http://www.pref.aichi.jp/bousai/densho/index.html>



PRキャラバンの様子

伝え隊の活動スケジュールはこちら
<http://www.quake-learning.pref.aichi.jp/modules/piCal/>